

和歌山病院での実習を終えて



山川 はるか

今回、呼吸器内科のポリクリの一環として、10月4日と5日の二日間にわたり和歌山病院で実習させて頂きました。和歌山病院のある美浜町に住んでいたことや、2年生の時に障害者施設実習でお世話になったこともあり、親しみのある地での実習を楽しみにしていました。

駿田副院長によるセミナーでは結核の感染予防について学び、また実際の結核病棟の見学などをさせて頂きました。陰圧室やその他感染防止のための特殊な設備を見学する事ができました。N95マスクの着用の仕方も教えていただき、初めて実際に着用しました。また肺結核の画像のセミナーでは病態の進行とそれぞれに対応する画像所見について理論的に理解する事ができました。酸素・呼吸補助機器のセミナーは、普段は名前だけでしか知らず、実際の器具やその仕組みについて知らなかったことを学ぶことができ勉強になりました。最も印象に残ったのが南方院長による胸部レントゲンのセミナーでした。胸部レントゲンは苦手意識がありました。今回のセミナーで、肺の区域の立体的な位置関係から、なぜそのような画像になるのかの原理を理解し病態や病変の部位を考えるとところまで丁寧に教えていただき、今まで覚えるだけだった知識が整理され大変勉強になりました。夕食時は南方院長から卒業後の進路の考えについて大変参考になるお話を伺う事ができました。地域の伝承、歴史についてのお話もあり楽しい時間を過ごさせて頂きました。

二日間という短い期間でしたが、多くの事を学ぶ事ができ、大変充実した時間を過ごす事ができました。南方院長、駿田副院長をはじめ、ご指導いただきました和歌山病院の皆様に感謝申し上げます。